

(通巻第 24 号)

2017年度事業計画書

 社会福祉法人 サンフレンズ

目 次

I	法人の理念と運営方針	1
1.	サンフレンズの理念	
2.	サンフレンズの運営方針	
II	2017年度 法人全体の重点目標	2
III	事業所別事業計画	
1.	特別養護老人ホーム事業	
	上井草園	4
	サンフレンズ善福寺	5
2.	通所介護事業	
	上井草ふれあいの家	6
	和田ふれあいの家	7
	和泉ふれあいの家	8
	松ノ木ふれあいの家	9
	永福ふれあいの家	10
3.	居宅介護支援事業	
	上井草支援センター	11
	サンフレンズ和田堀支援センター	12
4.	地域包括支援事業	
	ケア24上井草	14
	ケア24善福寺	15
	ケア24和田	16
5.	生活協力員事業	
	和田サービス付き高齢者住宅・和田みどりの里	17
6.	法人事務局	
	人事・経理・総務・地域福祉推進担当	18
IV	2017年度 法人全体の組織図	19

I 法人の理念と運営方針

社会福祉法人サンフレンズの理念と事業の運営方針は、次のとおりです。
この理念と運営方針は毎年度の事業方針と計画の基本となるものです。

1. サンフレンズの理念

(1) できるだけ自由に

・・・ 画一的、管理的にならず、一人ひとりがその人らしく生きられる。

(2) どこまでも対等に

・・・ 一人ひとりの人権を尊重し、すべての人が上下関係でなくつきあえる。

(3) 他者への思いを生かし合う

・・・ 地域社会でともに生きる人々との連携、地球環境、平和への願いを大切にする。

2. サンフレンズの運営方針

(1) 利用者のプライバシーと自立を尊重し、自己実現を助けることを一人ひとりの立場に立って行います。

(2) 利用者、家族、ボランティア、職員、理事などがお互いの立場を尊重し、民主的運営を行います。

(3) 他のグループや世代間の交流を図り、生活の質を高め、地域の福祉文化の拠点となることをめざします。

Ⅱ 2017年度 法人全体の重点目標

1. 視点

昨年度の事業活動収入は予算を大幅に下回りましたが決算見込みとしては黒字を維持できる見通しとなりました。当初予算額とは大きな開きがあり、その内訳としては、ここ数年続いている傾向は変わらず、支出の大きな割合を占める人件費の抑制、予定していた固定資産の購入の見送りをして黒字化している状況です。

さらに今後3年間を目途に法人経営環境はまた、以下のような新たな局面を迎えようとしています。

- ①法人が杉並区より借り上げている特養・デイサービスの家賃見直しが行われる。
- ②来年度介護保険制度改正・第7期杉並区介護保険事業計画により介護報酬の見直しが行われる。
- ③杉並区からの受託事業の受託料の見直しが行われる。

これらの局面を踏まえると、できるだけ早く、法人の体力があるうちに根拠をもった経営方針の見直しを行う必要があります。

今年度より、法人の常務理事制が本格的に始動することになりました。今まで以上にスピード感を持って、この難局に立ち向かい、法人の重点目標は昨年度に引き続き、法人の健全経営、地域貢献、利用者サービスの向上、人材確保として定め、変革の1年を職員全体で乗り越えてまいります。

2. 年間の重点目標

(1) 健全経営

来年度の介護保険制度の改定では介護報酬と医療報酬の同時改定となりますので、介護報酬の引き下げや介護報酬算定の要件がより厳しいものとなることが予想されます。今年度は早い段階で介護報酬改定の内容を把握し、安定した収益を確保するための方策を検討していきます。

今年度は、既存の全事業について運営方法の見直しを行い、以下の3点について重点的に取り組んでいきます。

- ①サンフレンズ上井草拠点での新事業を立ち上げ、新たな収益の柱にする。
- ②実行可能なサンフレンズ善福寺の収益増加策を策定する。
- ③デイサービス事業の運営継続・廃止の選択について根拠をもって判断する。

(2) 地域貢献

厚労省が実現を目指している「地域共生社会」は「高齢者の支援にとどまらない地域包括ケアシステム」と言われています。それに伴い、来年度の介護保険制度の改定では新たに「共生型サービス」が創設される見込みです。

国の動向を見据えながらではありますが、当法人としても高齢者のみならず、障害者や子どもなど生活上の困難を抱える方が自立した生活を送ることが出来るよう事業協定を締結している一般社団法人困ったときのSOSとともに地域を「丸ごと」支える包括的な支援体制を模索していきます。

(3) 利用者サービスの向上

法人全体の事業活動収入が毎年度減少していることは各事業において提供している利用者サービスが利用者・家族に支持されていない面もあることを謙虚に受け止めなければなりません。昨年度より開始した仮説検証プロジェクトを今年度も継続して実施し、利用者に支持される事業所づくりをしていきます。

また、利用者サービスの向上を図るために職員が働きやすい環境をつくることが重要です。ICTの導入による介護記録の電子化、介護ロボットの導入等、既に導入・実践している他施設への研修派遣・勉強会の開催・検討プロジェクトの立ち上げを現場職員主導で進めていきます。

(4) 人材確保（人材育成）

昨年度は10名の新規採用職員の確保ができました。今年度も引き続き目標人数の職員確保を行っていきます。また在職中の職員に対しては人材育成の仕組み化と職場環境の改善に取り組んでいきます。人材育成についてはステップアップ制度の運用を軌道に乗せることと職員からの要望が多い職員研修の充実をします。職場環境の改善は利用者サービスの向上でもふれた働き方の見直しを行います。

今年度新たな取り組みとしてサンフレンズ上井草での介護職員初任者研修講座の開催を下半期に開催します。受講対象をまず自法人職員および内定者を優先に検討していきますが応募状況を見ながら地域住民にも門戸を広げ、地域の介護人材の育成を行っていきます。

Ⅲ 事業所別事業計画

1. 特別養護老人ホーム事業 特別養護老人ホーム上井草園

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	特養稼働率96%以上 短期入所稼働率112%以上	①空床を作らない特養待機者への継続的新規訪問の実施 ②短期入所希望者のコンスタントな新規訪問
	②	職員研修の充実(学びあう)	①介護技術の向上 ②食事サービスの充実 ③リスクマネジメント ④ケアマネジメント研修 ⑤人権擁護、個人情報保護研修
地域貢献	①	家族・地域に向けた介護者教室の開催	①地域の身近な介護相談窓口機能の構築 ②顔の見える関係作りの構築
	②	実習生の受け入れ	①福祉人材の育成 (社会福祉士・介護福祉士・職場体験他)
利用者サービスの向上	①	チームケアの充実を目指して(業務の見直し・シフトの見直し・記録の電子化の検討)	①職種による連携の強化(役割分担の明確化) ②業務の効率化 ③記録電子化
	②	上井草園の介護方法の見直し(介護のIT化の検討)	①抱えない介護の検討 ②腰痛予防の取り組みの強化 ③安全、安心の介護の実践
	②	その人らしさの実現	①地域住民との交流 ②ボランティアの積極的受け入れ ③社会参加の機会を設ける
人材確保	①	職員面接の実施	①常勤面接の実施(4回/年) ②非常勤面接の実施(2回/年)
	②	新卒学生の確保	就職フェアへの参加

サンフレンズ善福寺

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	利用率向上	①特養1日30床中29床以上 ②ショートステイ1週間28床中27床以上 ③ショートステイ午前退所・午後入所の提案
	②	ユニットリーダー、フロアリーダー、介護統括、生活相談員、介護支援専門員の役割を決めて、サンフレンズ善福寺の組織図を作る。	・ユニットリーダーの役割確定 ・フロアリーダーの役割確定 ・介護統括の役割確定 ・生活相談員の役割確定 ・介護支援専門員の役割確定
	③	支出の適正化	①適正職員数で事業実施 ②必要経費の見直し
地域貢献	①	実習生・ボランティアの受入	①社会福祉士実習生の受け入れ ②介護福祉士実習生の受け入れ ③介護福祉士実習指導者の養成 ④社会福祉士実習指導者の養成
	②	地域活動の開催と参加	①自治会との防災協定締結 ②震災救援所訓練への参加 ③善福寺サロンの開催(月1回)
利用者サービスの向上	①	介護の質の標準化	①アセスメントに基づくケアプランを適宜作成し(基本は年1回)家族を含めたカンファレンスを実施する。 ②実施行事を増やす
	②	職員研修への参加	①外部研修への参加 ①内部研修の実施(毎月1回)
人材確保	①	職員研修への参加	①外部研修への参加 ※キャリア形成に配慮 ①内部研修の実施(毎月1回)
	②	実習生・ボランティアの受入	①社会福祉士実習生の受け入れ ②介護福祉士実習生の受け入れ③介護体験等実習生の受け入れ
	③	就職活動で施設見学を希望される方への施設案内	就職活動で施設見学を希望される方への施設案内

2. 通所介護事業 上井草ふれあいの家

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	法令順守	①アセスメント、介護記録、通所介護計画、モニタリングの作成管理
	②	業務改善	①情報一括管理、書類の整理によって、情報共有、業務効率化を図る ②利用者の過ごし方を見直し、業務シフトを変更する
	③	利用率向上	①月～土曜利用人数 32人/日(80%)
利用者サービスの質の向上	②	プログラム内容の充実	①利用者意見交換会プログラ検討会議 1回/月 ②新たなサービスの実現
	②	外出機会の提供	①季節ごとにグループで外出
	③	個別サービスの提供	①個別リハビリ 8人/日 グループリハビリ 5人/日 ②入浴 20人/日
人材育成	①	職員研修	①事業所内研修 年5回 ②事業所外研修 ひとり1回以上
地域貢献	①	ボランティア受入れ	①述べ人数 150人/月 ②ボランティア懇談会 2回/年
	②	地域の小中学校 体験実習受入れ	①中学校職場体験 ボランティア体験受入れ 5校 ②介護福祉士社会福祉士実習指導者の育成

和田ふれあいの家

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
利用者サービスの 質の向上	①	プログラムの充実	①認知症予防プログラムの継続 ②季節感を味わえるプログラムの充実 ③事業形態変更をスムーズに行なう
	②	定期的な研修の開催	①年4回の介護技術の向上を目指した研修の開催 ②毎年定例の研修の開催
人材確保	①	職員の人材育成	職員のスキル向上として ①内部研修の開催 ②外部研修の参加 ③伝達研修の開催 新人職員の教育マニュアルの作成
	②	随時人員の確保に努める	①チラシの配布、口コミ等による人員募集 ②職員が疲弊しない職場環境作りの継続
地域貢献	①	ボランティア、実習生等の受け入れ	①介護等体験の学生 ②ボランティアの受け入れ
	②	地域住民、各関係機関との協働	①定期会議、訓練への参加 ②介護者教室年4回の開催する事で地域住民の介護力の向上に貢献
健全経営	①	安定した収入の確保	①1日平均23.4名以上の受け入れを目指す ②入浴者は1日平均10名を目指す
	②	法令順守した経営	①通所介護計画書・モニタリングアセスメントの定期的更新

和泉ふれあいの家

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
利用者サービスの質の向上	①	年間を通して季節感を感じられるプログラムの実施	①外出行事の実施 ②毎月の季節行事の実施
	②	サービスの質の向上に向けた組織的な仕組みづくり	①定期的な職員研修の実施 ②毎月の目標設定と評価 ③運転手の定期的な会議・研修の実施
人材確保	①	職員研修の充実化	①外部研修への積極的な出向 ②援助技術の向上
	②	労働環境の整備	①無駄をなくし、業務の効率化を図る ②業務分担の明確化及び評価
地域貢献	①	地域活動への参加と学生ボランティアの受け入れ、育成。	①地域住民との交流 ②介護者教室の開催
	②	学生ボランティアの受け入れ	①学生ボランティアの受け入れと育成 ②近隣ボランティアの受け入れ
健全経営	①	安定した収入の確保	①1日平均27名以上の受け入れを行う。
	②	法令順守した経営の継続	①計画書類の整備

松ノ木ふれあいの家

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
利用者サービスの質の向上	①	年間を通して季節感を感じられるプログラムの実施	①年間行事 8 回以上開催 ②外出プログラム 5 回以上開催
	②	サービスの質の向上に向けた組織的な仕組みづくり	①ステップアップシートを基に職員自らが自己評価し、所長と面談を行い、今後の課題と目標をたてる。 ②進捗状況の確認 ③最終評価と次年度の目標設定。
人材確保	①	労働環境の整備	職員が働きやすい環境を作る ①適切な職員体制の確保 介護職員 1 日 5 名以上配置。 ②業務分担を明確にする。
	②	職員の人材育成	職員各自のスキルや意欲にを引き出す。 ①法人内外の研修へ年 3 回以上の参加を目指す。
地域貢献	①	地域活動への参加	①地域活動への参加 ②家族介護者教室年 3 回開催
	②	学生ボランティアの受け入れと育成	①学生ボランティア、介護体験の受け入れと育成 ②近隣ボランティアの受け入れ
健全経営	①	安定した収入の確保	①1 日平均 27 名以上の受け入れを行う。 ②入浴介助サービス 1 日 7 名以上。
	②	法令に順守した運営	①通所介護計画書・モニタリング・アセスメントの定期的更新

永福ふれあいの家

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
利用者サービスの質の向上	①	趣味活動の充実	①新規クラブ活動の開設 ②クラブ運営の安定
	②	日々のプログラム活動の充実	①年間計画の作成・実施 ②利用者の1日の過ごし方の見直し ③個別性の高い利用者の過ごし方の見直し
人材確保	①	人事考課制度の実施	①制度の安定実施 ②課題や改善点の整理
	②	人材育成	①内部研修 ②外部研修
地域貢献	①	ボランティア・実習生の受け入れ	①永福学園現場実習(福祉課・清掃課) ②明治大学ボランティア講座 ③教員免許介護等体験 ④中学生職場体験
	②	地域に向けての活動	①家族介護者教室(3回) ②地域の関係施設との関係構築及び、地域事業の協力推進
	③	短期集中予防事業	①基準通りに従業員の配置できる。 ②事業参加率 80%
健全経営	①	安定した収益の確保	①53名定員に対して79%の利用率の確保
	②	法令に遵守した運営	①ケース記録の整備
	③	制度改正に向けての組織構築	①情報収集 ②次年度に向けての提案

3. 居宅介護支援事業 サンフレンズ上井草支援センター

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	毎月の適正件数の達成	毎月の達成率 96%以上を達成を目指す。
	②	特定事業所Ⅲにかかる適正運営	日々の通常業務から、適切なケアマネジメントを積み重ねていく。
地域貢献	①	地域連携活動	1. 井草圏域地域ケア会議 2. 主任 CM 会議 3. 区・CM 協議会 4. 上井草園内連携
	②	地域活動への参加	清掃活動の実施
利用者サービスの質の向上	①	相談支援業務の徹底	通常業務の中で特に相談支援業務の必要性、重要性を理解し実践する。
	②	制度理解・情報共有	総勢 6 名という CM 数の規模を生かし、各 CM が持つ知識、情報、経験を共有し、もって利用者サービスの向上に資するようにする。
人材確保	①	研修計画立案・実施、実習生受入体制作り	1. 研修計画立案・実施 2. 実習生受入
	②	法人内業務分掌への参画	1. 安全衛生委員会 2. 感染症対策委員会 3. 防災委員会 4. オンブズマン協力委員会 5. オンブズマン委員会

サンフレンズ和田堀支援センター

施設 目標	施設の具体的目標	指標・成果
健全経営	① ○地域に愛され利用者から選択される事業所を目指し、新規利用者の確保に努めます。	①地域包括支援センターや近隣の居宅サービス事業所等に新規契約者の確保が出来るように活動します。 ②特定事業所加算Ⅲの継続実施します。 ③杉並区やケア 24 等からの業務委託による要介護認定に伴う認定調査については、適正に調査を行い、提出期限までに提出できるように研修に参加し、対応できるように準備します。
	② ○特定事業所集中減算の適応を受けないよう中立性を確保します。	①毎月特定事業所の割合が 80%を越えないようにします。
地域貢献	① ○和田堀支援センターの日常生活圏域をしっかりと把握しながら地域ケア会議や地域のイベント等に積極的に参加し、地域との交流を図ると共に和田堀支援センターの存在を随時アピールしていきます。そして地域から信頼・選択される事業所を目指します。	①ケア 24 永福地域ケア会議 ②ケア 24 方南地域ケア会議 ③ケア 24 堀ノ内地域ケア会議 ④ケア 24 和田地域ケア会議 ⑤ケア 24 松ノ木地域ケア会議 ⑥ケア 24 梅里地域ケア会議 ⑦ケア 24 成田地域ケア会議に積極的に参加します。
	② ○地域包括支援センター・病院診療所等関係機関や地域との連携強化を図ります。	①ケアマネ連絡会や看取りや認知症に関する研修など、外部研修に積極的に参加し、個々の職員のサービスの質の向上を図ります。 ②日常業務の個々の機会を通して職員相互間で切磋琢磨していきます。
利用者サービスの質の向上	① ○利用者から「選択」される事業所を目指します。	○利用者アンケートを実施します。 ○専門職としての知識の習得とスキルアップを常に意識し、専門性の向上に努めます。 ○最新の情報を取得するため公的な研修には、積極的に参加します。なお、研修参加後は、施設内の会議等で内容を発表し、情報の共有化を図ります。

	②	<p>○職員から「職員が生き生きと満足して働ける環境」を整備します。</p> <p>○職員個人のさらなる能力、意欲の向上が図れる体制を構築していくことです。</p> <p>○「利用者」、「職員」2つの満足を追求していくことが、質の高いサービスの提供に繋がります。</p>	<p>○増加傾向にある医療ニーズに対し、医療・介護を切れ目なく提供するため、日常的に近隣の地域包括支援センターや医療機関等と連携・協働を行い、利用者本位のケアプランの作成します。</p> <p>○特に、在宅での看取りを選択するケース、医療ニーズ以外にも多様化する課題を有する困難ケースや短期のケアプラン利用者も同様に対応し、関係機関との連携維持に努めていきます。</p>
人材確保	①	<p>○今いる人が働きやすい職場になるようにしましょう。</p>	<p>○職員が共に支えあう事業所運営を構築します。(職員の満足度を追及します。)</p> <p>○心身の健康管理には十分配慮し、明るく笑顔の絶えない職場づくりを心掛けます。</p>
	②	<p>○法人内でケアマネ希望者を募りましょう。</p>	<p>○法人内で専門性の高いケアマネの育成をします。そして質の高いケアマネジメントを実施し評価を得ると共に、地域全体のケアマネジメントの質の向上に貢献することを目指します。</p>

4. 地域包括支援センター事業 ケア 24 上井草

施設目標	施設の具体的目標	指標・成果
健全経営	① 実績収入の最大限の確保	①予防給付:175件/月 ②実態把握:690件/年 ③家族介護教室:6回/年
	② 超過勤務の削減	それぞれの職員が前年度よりも削減することができる。
地域貢献	① 認知症理解への取り組み	①認知症サポーター養成講座の開催(3年目で365名の達成) ②講座修了者のステップアップ(人材育成)
	② 地域発信型介護予防事業	①井草3丁目区営集会所(1回/2~3カ月) ②上井草1丁目区営集会所(1回程度/年) ③みどりの里談話室(毎月)
利用者サービスの向上	① 地域課題の把握	①在宅医療地域ケア会議(年3回) ②個別型地域ケア会議(年6回) ③事業者間(多職種)交流(前半1回) ④小地域懇談会(エリアごと年1回)
	② ケア24活動の広報・周知	①ケア24上井草だよりの発行(4回/年) ②地域コム、法人HP活用(毎月更新)
人材確保	① 職員の育成	①-1 日常業務のOJT ①-2 包括職員対象の研修 ②法人内連絡会(部門別会議)の実施

ケア 24 善福寺

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	最大限の実績収入確保	①予防給付月 190 件(自主 120 件・委託 70 件) ②実態把握年 690 件 ③新予防プラン年 5 件 ④家族介護教室年 6 回
	②	超過勤務削減	毎月の超過勤務を職員 1 名につき 3 時間以内に抑える。
地域貢献	①	地域発信型介護予防事業 (地域の居場所とつながる)	①かがやき亭 ②善福寺サロン ③地域で安心サロン ④西荻北ささえあいサロン ⑤けやきの見える家 ⑥ゆうゆう善福寺館予防講座 ⑦活動の広報・サロンマップ情報更新(ケアたより)
	②	地域の担い手発掘 (住民による地域の理解)	①ご近所ささえあい講座企画・実施全 4 回 ②町会単位でのたすけあいネット地域連絡会毎月開催
利用者サービスの質の向上	①	地域住民への啓発活動	桃井第四小学校・井荻小学校児童・荻窪中学校生徒への啓発授業
	②	地域ニーズ・地域課題の把握	①社会福祉協議会・おでかけサービス杉並との協働で地域ささえあいプロジェクト ②「善福寺地域の買物について考える会(仮)」の活動 ③在宅医療地域ケア会議年 3 回開催 ④個別ケース検討型地域ケア会議年 4 回開催
人材確保	①	職員の育成	①日常業務上の OJT ②地域包括職員対象研修の参加 ③ケアマネジャー実務従事者研修の参加 ④法人連絡会の実施
	②	法人他事業所との研鑽	法人内ケア 24 と居宅の職員の連絡会を企画・実施

ケア 24 和田

施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	実績収入の最大限の確保	①予防給付:233 件/月 ②実態把握:690 件/年 ③家族介護教室:6 回/年
地域貢献	①	旧和田が実施していた地域発信型介護予防事業を継続する	①えぶろんの会 ②高南5丁目会館体操教室 ③シルバーピア健康相談会
	②	和田拠点としての地域貢献の可能性を探る	拠点全体で検討できるよう、顔合わせ、話し合いの場を作る
利用者サービスの向上	①	地域課題の把握	①在宅医療地域ケア会議(年3回) ②ケアマネ連絡会 ③地域のグループ活動、既存の団体、民協などに参加
	②	ケア24活動の広報・周知	①ケア24和田だよりの発行(4回/年) ②地域コム、法人HP活用(毎月更新)
人材確保	①	職員の育成	①日常業務上のOJT ②地域包括職員対象研修の参加 ③法人連絡会の実施
	②	法人他事業所との研鑽	法人内ケア24と居宅の職員の連絡会を企画・実施

5. 生活協力員事業

和田サービス付き高齢者住宅・和田みどりの里

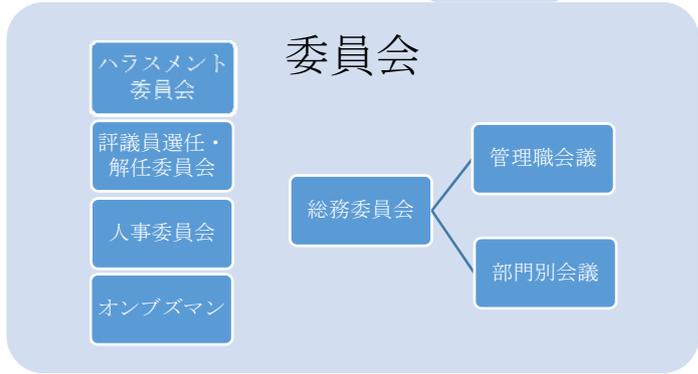
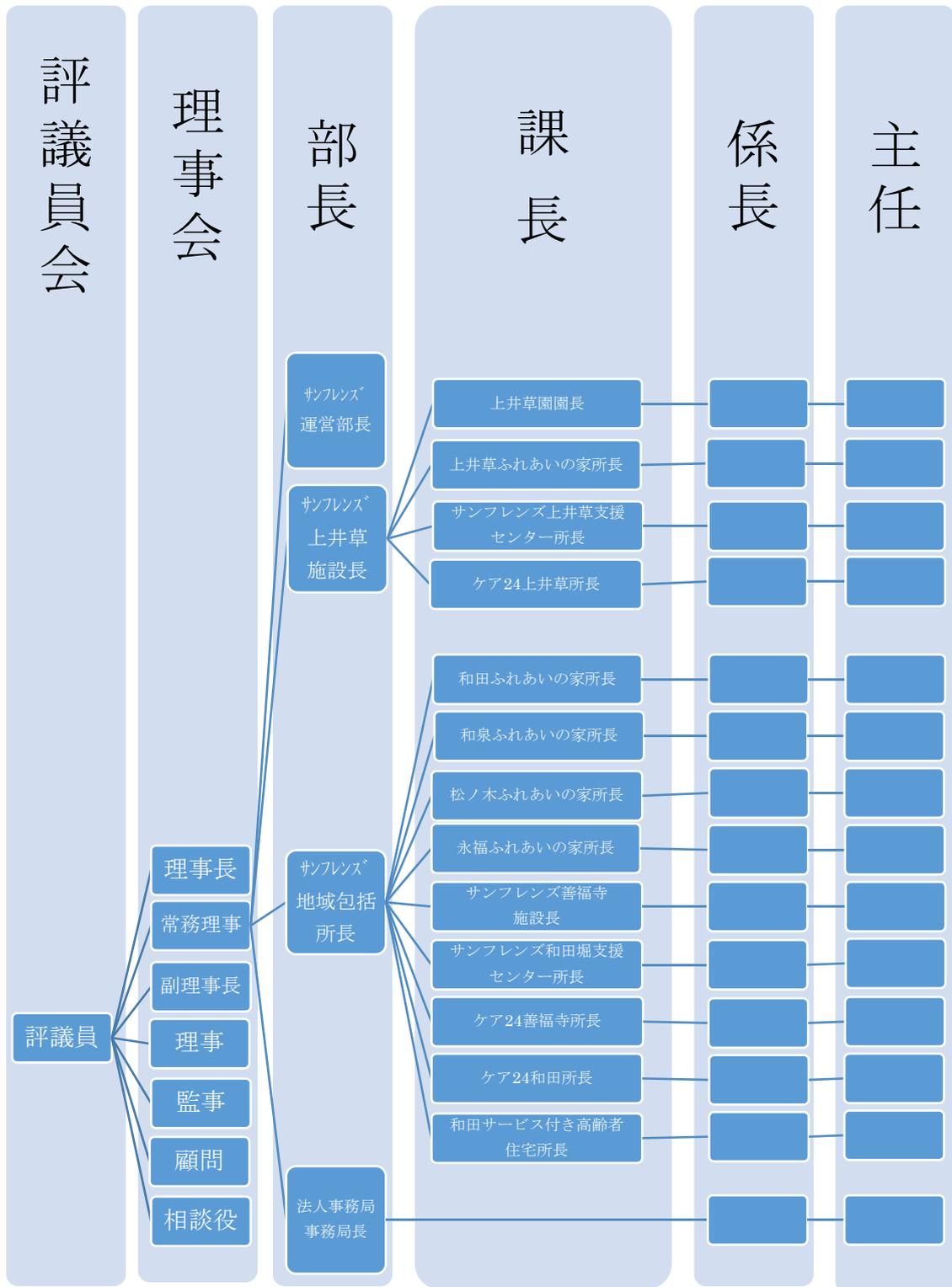
施設 目標	施設の具体的目標		指標・成果
利用者サービスの 質の向上	①	サービス付き高齢者住宅・みどりの里それぞれに居住している方々が互助できるよう顔の見える関係作りを支援する	月1回の定例会の実施
人材確保	①	職員の人材育成	職員のスキル向上として ①内部研修の開催 ②外部研修の参加 ③伝達研修の開催 新人職員の教育マニュアルの作成
地域貢献	①	談話室を拠点としたサロン活動を提案し、地域の方々との交流の機会を進める。	談話室の地域利用
健全経営	①	2017年度以降の和田拠点(和田ふれあいの家・サービス付き高齢者住宅・和田みどりの里・ケア24 和田)の検討を進める。	2Fの講座室、3Fの談話室の利用方法について検討
	③	緊急時や災害発生時に即対応できる体制を整え、設備管理と操作の知識と居住者の安全確保等の技能を習得する。	・避難訓練の実施 ・非常通報の対応 ・一斉放送の環境整備

6. 法人事務局

人事・経理・総務・地域福祉推進担当

施設目標	施設の具体的目標		指標・成果
健全経営	①	短期的な事業の再建	①利用者・市場調査 ②再建計画の立案 ③再建計画の実施 ④進捗状況の確認・軌道修正
	②	中長期にわたる事業計画を立案する。	①将来にわたって係る費用の算出 ②運営している事業の見直し ③適性人員配置の見直し ④中長期の財務計画に着手
	③	事業費・事務費の適正な執行の目途をつけ来年度の予算に反映する	①設備保全計画を作成する ②委託業者・購買先の見直し ③コスト削減の見直し ④来年度予算に反映
地域貢献	①	一般社団法人SOSの会との事業協定を中心に進める	地域における公益的な取組の実施内容に沿った社会福祉充実計画作成
利用者サービスの向上	①	受託事業(和泉みどりの里)生活協力員業務のサービス向上	入居者の安心・安全な生活を支援していく。
人材確保	①	新卒学生・中途採用職員の目標数確保	①新年度内定者13名(毎年の平均退職者数目安) ②中途採用は新卒学生内定者数不足人数分(10月の時点で募集人数を確定する) ③介護職員初任者研修を開催し潜在的介護人材の発掘をする。
	②	キャリアパス運用に関する検討を引き続き行う	年度計画に基づき人事考課制度の運用を進めていく。

IV 2017年度 法人全体の組織図



発行日 2017年5月

社会福祉法人 サンフレンズ

「2017年度事業計画書」

法人事務局

〒167-0023

東京都杉並区上井草3丁目33番10号

電話 03-3394-9833

FAX 03-3394-9834

ホームページ <http://www.3friends.or.jp/>